

平成24年度
9月補正予算案資料



	〈ページ〉
1. 補正予算の概要	1
2. 一般会計予算の状況	8
3. 一般会計予算歳入の状況	9
4. 一般会計予算歳出の性質別状況	10
5. 工事箇所等位置図	11

1. 平成24年度 9月補正予算の概要

◎補正の規模

(単位:千円)

区 分	平成24年度		
	補正前	9月補正	累計
一般会計(第3回)	15,254,600	938,500	16,193,100
介護保険特別会計(第2回)	2,880,880	18,204	2,899,084
簡易水道事業会計(第1回)	288,200	671	288,871
農業集落排水事業特別会計(第1回)	129,000	205	129,205

◎補正の主な内容

【一般会計】

○ 総務費 **190,774 千円**

【一般管理費】 公用車運転業務委託料[1,100]、継続中の訴訟に係る弁護士謝礼の増[462]及び費用弁償の増[112]

【企画費】 コミュニティFM局開局助成金(別紙P.4参照)[135,300]、地デジ化に伴う共聴施設改修に対する無線システム普及支援事業費等補助金(新設4地区、改修2地区)の増[53,800]

○ 民生費 **4,787 千円**

【心身障害者福祉費】 前年度国県支出金返還金[385]

【高齢者医療費】 老人保健交付金に係る医療費負担金返還金国庫分[117]、県費分[29]、基金分[176]

【児童措置費】 児童扶養手当給付費負担金に係る前年度国県支出金返還金[73]

【保育所費】 保育所運営費に係る国県負担返還金[58]、しゃくなげ保育園白アリ被害箇所及びトイレに係る修繕料の増[700]、白アリ駆除委託料[100]

【生活保護総務費】 生活保護費に係る前年度国県支出金返還金[3,149]

○ 衛生費 **13,300 千円**

【保健衛生総務費】 防災拠点用非常用電源設置事業費補助金[10,000]

【環境衛生費】 不法投棄廃棄物回収事業に係る自動車借上料の増[540]、不法投棄防止フェンス設置工事(船原・北又地区)[2,760]

○ 農林水産業費 **32,753 千円**

【農業総務費】 月ヶ瀬梅林トイレ改修工事[300]

【農業振興費】 緊急雇用対策による農業施設等受益地台帳整備事業[5,053]、環境保全型農業直接支援対策補助金[4]、大型農業機器購入補助金[310]、新特産品開発補助金[486]

【土地改良事業費】 火振吐水槽流量計取替による修繕料の増[1,300]

【林業振興費】 ホダ場放射能検査料の増[5,300]、椎茸種菌購入に対する椎茸生産奨励事業補助金[16,000]、高性能林業機械導入補助金[4,000]

○ 商工費 **115,886 千円**

【観光振興費】伊豆文学フェスティバル(講師謝礼[362]、需用費の増[335]、関連イベント委託料[500]、バス借上料[252]、会場借上料[50]、映画上映用フィルム借上料[500])、巨木フォーラム(普通旅費の増[200]、大会補助金[250])、観光資源活性化事業(天城地区)委託料の増[3,401]
【観光施設管理費】土肥総合会館解体工事[58,500]、六仙の里(トイレ・遊具等修繕料の増[460]、支障木下刈り・間伐等委託料の増[1,000]、管理棟改修工事[1,970]、法面補修用原材料費[70])、修善寺梅林売店排水ポンプほか修繕料の増[900]、昭和の森天城グリーンガーデン遊歩道土留補修工事[200]、万天の湯売却に伴う観光施設整備費補助金返還[23,781]、天城ふるさと広場(育樹祭に伴う造園業務委託料[1,000]、グラウンド整備用ブルドーザー借上料[93]、台風4号による宿泊棟雨漏り等補修及び育樹祭に伴う食堂ロールカーテン取替等施設改修工事費の増[2,271]、温泉ポンプ取替工事[685]、グラウンド砂購入費[651])、天城会館(機械等燃料費の増[917]、吊物機構設備保守点検委託料[483])、湯の国会館湯量減少原因調査委託料[2,800]、湯道路面舗装他観光施設修繕料の増[1,055]、恋人岬ボードウォーク改修設計業務委託料[8,000]、奥の院阿字苑園路改修他観光施設維持補修工事費の増[5,200]

○ 土木費 **37,700 千円**

【道路新設改良費】市道駅前柏久保線及び市道南温泉場線用地に係る土地購入費の増[7,550]、市道駅前柏久保線物件補償費の増[1,050]
【高規格道路整備費】天城北道路工用道路用地に係る土地購入費の増[20,700]
【都市再生整備費】修善寺駅周辺整備に係る計画修正委託料の増(継続費の年割額の変更)[8,400]

○ 消防費 **9,600 千円**

【災害対策費】津波避難表示看板等作成業務委託料[3,710]、津波避難看板等設置工事費[4,290]、防災用資機材購入のための備品購入費の増[1,600]

○ 教育費 **43,600 千円**

【中学校管理費】市内4校教育用器具購入に係る備品購入費の増[500×4校]
【中学校教育振興費】市内4校図書購入に係る備品購入費の増[150×4校]
【幼稚園管理費】湯ヶ島幼稚園配膳室補修に係る修繕料の増[1,000]
【体育施設費】修善寺グラウンド法面改修工事[40,000]

○ 災害復旧費 **10,100 千円**

【農業用施設災害復旧費】土肥花卉団地災害復旧工事[4,800]
【漁港施設災害復旧費】小下田漁港(米崎・清藤地区)災害復旧工事[5,300]

○ 諸支出金 **480,000 千円**

【基金費】地方財政法第7条の規定による財政調整基金積立金[480,000]

【介護保険特別会計】

○ 諸支出金 **18,204 千円**

【償還金】 前年度地域支援事業及び介護保険給付費に係る交付金返還金の増〔1,767〕

【簡易水道事業特別会計】

○ 総務費 **671 千円**

【一般管理費】 平成23年度決算に伴う消費税の増〔671〕

【農業集落排水事業特別会計】

○ 業務費 **205 千円**

【業務費】 平成23年度決算に伴う消費税の増〔205〕

平成24年度 コミュニティFM局整備事業 コミュニティFM局整備事業 企画書及び実施計画書(案)

1 コミュニティFM招致開局の目的

コミュニティFM放送局は、“市民の市民による市民のためのメディア”であり、地域に密着した身近な話題を生放送で提供し、地域の情報交換を深めることで、伊豆市を元気にすることが目的です。また、災害時には地域にきめ細かな情報を、迅速にお届けすることが可能となります。

「活気ある、安心・安全なまちづくり」のため、こうした機能を持つコミュニティFM放送局を速やかに開局したいと考えています。

アンケート結果（平成23年度実施）

普段のラジオの聴視頻度は、「毎日聴く」の25.7%、「たまに聴く」の23.2%を合わせた『聴く』が48.9%、「ほとんど聴かない」の24.4%と「全く聴かない」の25.5%を合わせた『聴かない』が49.9%となっています。

尚、コミュニティFM自体知っている方が40%弱でその他は知らない方が多いなど、放送を聴いてみたい、メールやはがき等で参加したい75%の方が参加したい意向がある事がわかった。コミュニティFM放送を手段として、地域のコミュニティづくりや防災に関する情報提供などを含め、広く周知することにより、より多くの市民賛同が得られると推測される。

コミュニティ放送局とは

- (1) 市町村の一部の区域において、地域に密着した情報を提供するために、平成4年1月に制度化されたFM放送局です。
- (2) 地域の特徴を活かした番組や防災・災害情報等を提供することにより、地域情報の発信拠点として、豊かで安全な街づくりに貢献できる放送局です。
- (3) 76.1MHzから89.9MHzのFM放送の周波数帯の電波を利用するため、一般に市販されているFMラジオやカーラジオで聴くことができます。
- (4) コミュニティ放送局ならではの小回りの利いた取材で、地域のイベントや身近な話題を取り上げるなど、地域の特性を活かした番組作りを行っています。
- (5) 平成7年1月の阪神淡路大震災において災害情報等がリアルタイムにきめ細かく提供されたことなどをきっかけに、コミュニティ放送に対する期待が高まっています。

引用：総務省情報流通行政局 衛星・地域放送課地域放送推進室

「コミュニティ放送局開局の手引き」平成23年11月

第2章 コミュニティ放送の概要より

2 コミュニティFM局の開局コンセプト(=事業展開のポイント)

コミュニティ FM 放送は地域のコミュニティづくりのツールの一つであるため、いわゆる広域のラジオ放送とは性質が違うものであるが、このことが運営側や一般聴取者にも理解されにくい。また、当然のことながらマーケットやニーズに大きな違いもあることから、コミュニティ放送に適した局の運営や経営手法が必要となってくる。

このようなことから、コミュニティ放送を開始するにあたって、何よりも地域に必要とされ、持続的にその使命を果たしていくための実情に即した基本的なコンセプトづくりが重要となる。

よって、本市のコミュニティ放送局の開局に係るコンセプトを次のとおりとする。

◎『ステキ連鎖』

伊豆市が目指すまちづくりのゴールは、住みたい、住み続けたいと思える、「素敵なまち」。伊豆市には知られていない「素敵」がいっぱいある。知っているつもりだけど、素敵とは気づかない「ステキ」がいっぱいある。これから素敵になる「コト」や、「モノ」がいっぱいある。素敵な人がいて、これから素敵になる人がいて、そんな素敵な情報を発信することで、まちが素敵に満ち溢れる。そして、「ステキ」は、「ステキ連鎖」を起す。

◎市民が必要とする情報を常に生放送・自主製作で提供する

- (1) 市民生活に大切な、地域の日常に特化した最新の情報をリアルタイムに発信することで、常に聴いていけば得をされると思われるような番組作りをする。
- (2) 地域の地域による地域のためのメディア。地域に密着した身近な話題を提供し、市民とのコミュニケーションを深めることで、地域を元気にすることが目的です。

◎放送することで地域ににぎわいが生まれる番組を作る

- (1) 身近だがこれまで知らなかったような店、会社等の情報を掘り起こして流すことで地域に交流を生み、地元の商店街に活気を取り戻す。
- (2) 観光情報誌に載らないようなスポットを紹介することで、観光客にも市民にも喜ばれる番組づくりをする。
- (3) 各地区のイベント、出来事を詳細に伝えることで、地域コミュニティを活性化させる。

◎積極的に防災・災害情報を発信し、市民の命を守ることを第一とする

- (1) 地域の災害や事故情報を最優先で発信する。
- (2) 情報配信エリアは市内の地形的状況から 100%カバーは厳しい現状であるが、なるべく広範囲をカバーしたいと考える。災害時の防災無線の補完的役割を果たす。
- (3) いつ起こるかかわからない災害に備え、一日でも早く、万全な情報補完体制を整え住民の安全と安心を担保する。

◎持続的で安定的な運営が可能な放送局

- (1) 自主制作番組を生放送することによりコストを削減する
- (2) CM と番組提供料を安価にすることにより、薄く広くスポンサーを集め、その売り上げだけでランニングコストを賄う

3 コミュニティFM開局整備事業の事業企画概要及び実施計画

前段2の開局コンセプトにもとづき、本市のコミュニティFM局開局に向けて次のとおり事業を推進する。

(1) 開局形態

1市1局の原則に従って「(仮)FM IZ」を伊豆市で単独開局するが、運営に関しては伊豆の国市が開局するFM局と一部共同で行うものとし、2市2局の同時開局を目指す。

→理由 ・ 防災の視点

大規模災害時を想定した両市の情報網を補完するため。

・ 経費削減の視点

本市の人口並びに市場規模ではスポンサーの拡大が見込まれないことから、一部の番組を2市共通の番組とすることでコスト削減を図るため。

・ 地域活性化の視点

通勤通学及び商圈が同一であることから、両市共通の情報を流し交流を活発化することで、より一層の地域経済の活発化を図ることができるため。

・ 電界調査の結果、1波で2市をカバーする事が不可能であるため。

(2) 運営母体

コミュニティFM放送の運営母体は民間の法人とする。本市はその法人に対し開局するまでの施設整備費等（防災に係る経費）について、助成し開局するまでの間、官民一体となり早期開局を目指す。

→検討事項 ア 民間会社（運営会社）の決定

イ 民間会社への助成方法等

(3) 推進体制

次の組織を設置し事業の推進を図る。

推進組織と役割

(組織名は仮称)

名称	主な役割	対象
放送番組審議委員 (案)	放送事業者の諮問に応じ、放送番組の適正を図るため必要な事項を審議する。	
発起人	法人設立までの準備、会社のコンセプトなどを発起人会で決定する。	

(4) スタジオの設置

メインスタジオは修善寺駅周辺を予定。耐震性に考慮しつつ、経済面も配慮しコミュニティFM局の運営に都合の良い場所を選択して設置する。(安価)

サテライトスタジオについては、場所は未定だが初期投資で資機材(安価)を整備する。安易に移動できる仕組みを構築する。将来的には市民や観光客が直接見ることができ、親しみを持たれるような場所に設置し、週末や休日に観光情報番組を放送する。また、防災面から特に必要と思われる場所(土肥地区)も考慮し選定する。

(5) 緊急時割り込み放送用のシステム構築

災害時の緊急放送を全ての市民に伝えるために、緊急時の割り込み放送システムの構築をする。また、設立会社と災害時防災協定を締結する。

4 コミュニティFM開局のスケジュール概要

- H24 6月 電界調査、開局趣意書の提出、開局支援事業者の選定及び推進組織の設置
7月 議員、職員、市内各種団体の勉強会
8月 発起人、運営コンセプト等の検討(9月まで)
8月末 市民向けシンポジウム、免許申請概要書の提出、民間会社の決定、株主の募集
10月 アンテナ、スタジオ、資機材の検討と選定
12月 放送免許申請、スタッフ募集
1月 スタジオ工事、放送機材設置、スタッフ採用
2月 アンテナ工事
3月 予備免許取得、試験電波発射
- H25 4月 開局

※詳細は別紙コミュニティFM局整備事業スケジュールのとおり

5 予算等

当該事業の推進に係る事業予算であるが、アンテナ設計をはじめ放送資機材の選定等の専門的な知識を要するため、9月の補正予算にて計上する。

なお、資機材等の検討及び選定は、有識者による助言を持って法人組織により選定する。

【開局までの一般的な経費概算】

■事務用品・音源費等 【施設整備費】 125,300千円	5,000千円
■送信所4箇所(材料費・工事費)	107,000千円
■演奏所機器類(メイン・サテライトスタジオ)	8,300千円
・メインスタジオ	5,800千円
・サブスタジオ機材(スタジオ経費含まず)	2,500千円
■演奏所室内工事	10,000千円
【その他経費】 10,000千円	
■開局コンサルタント	3,000千円
■免許申請業務	2,000千円

2. 一般会計(3号)予算の状況(款別一覧)

歳入

款別	補正前	補正	補正後
1 市税	4,375,195		4,375,195
2 地方譲与税	220,000		220,000
3 利子割交付金	10,500		10,500
4 配当割交付金	6,000		6,000
5 株式譲渡所得割交付金	1,600		1,600
6 地方消費税交付金	341,000		341,000
7 ゴルフ場利用税交付金	135,000		135,000
8 自動車取得税交付金	53,500		53,500
9 地方特例交付金	21,500	△ 8,588	12,912
10 地方交付税	4,800,000	432,749	5,232,749
11 交通安全対策交付金	7,000		7,000
12 分担金及び負担金	242,816		242,816
13 使用料及び手数料	242,866		242,866
14 国庫支出金	1,252,458	△ 55,300	1,197,158
15 県支出金	818,794	14,261	833,055
16 財産収入	63,664		63,664
17 寄附金	102	1,000	1,102
18 繰入金	482,586	18,387	500,973
19 繰越金	309,790	486,191	795,981
20 諸収入	230,029	37,800	267,829
21 市債	1,640,200	12,000	1,652,200
合計	15,254,600	938,500	16,193,100

歳出

(単位:千円)

款別	補正前	補正	補正後
1 議会費	170,788		170,788
2 総務費	1,754,976	190,774	1,945,750
3 民生費	4,121,108	4,787	4,125,895
4 衛生費	1,676,025	13,300	1,689,325
5 労働費	23,359		23,359
6 農林水産業費	522,884	32,753	555,637
7 商工費	749,945	115,886	865,831
8 土木費	2,225,822	37,700	2,263,522
9 消防費	782,054	9,600	791,654
10 教育費	1,697,180	43,600	1,740,780
11 災害復旧費	30	10,100	10,130
12 公債費	1,477,800		1,477,800
13 諸支出金	2,629	480,000	482,629
14 予備費	50,000		50,000
合計	15,254,600	938,500	16,193,100

3. 一般会計予算 歳入の状況(財源内訳)

(単位:千円)

財源別・款		区 分	補正前の額	補正額	累計
自主財源	市	税	4,375,195		4,375,195
		分担金及び負担金	242,816		242,816
		使用料及び手数料	242,866		242,866
		財産収入	63,664		63,664
		寄附金	102	1,000	1,102
		繰入金	482,586	18,387	500,973
		繰越金	309,790	486,191	795,981
		諸収入	230,029	37,800	267,829
		小計	5,947,048	543,378	6,490,426
依存財源		地方譲与税	220,000		220,000
		利子割交付金	10,500		10,500
		配当割交付金	6,000		6,000
		株式譲渡所得割交付金	1,600		1,600
		地方消費税交付金	341,000		341,000
		ゴルフ場利用税金交付金	135,000		135,000
		自動車取得税交付金	53,500		53,500
		地方特例交付金	21,500	△ 8,588	12,912
		地方交付税	4,800,000	432,749	5,232,749
		交通安全対策金特別交付金	7,000		7,000
		国庫支出金	1,252,458	△ 55,300	1,197,158
		県支出金	818,794	14,261	833,055
		市債	1,640,200	12,000	1,652,200
		小計	9,307,552	395,122	9,702,674
合	計	15,254,600	938,500	16,193,100	

4. 一般会計予算 歳出の性質別状況

(単位:千円)

項 目		区 分		補正前の額	補正額	累計
経常的経費	義務的経費	人 件 費		3,039,361		3,039,361
		扶 助 費		1,719,287		1,719,287
		公 債 費		1,477,800		1,477,800
		小 計		6,236,448	0	6,236,448
	物 件 費		2,549,147	40,367	2,589,514	
	維 持 補 修 費		89,071	5,415	94,486	
	補 助 費 等		1,817,695	248,742	2,066,437	
	計		10,692,361	294,524	10,986,885	
投資的経費	普通建設事業	補 助 事 業		1,099,525	17,000	1,116,525
		単 独 事 業		1,339,693	136,876	1,476,569
		県 営 事 業 負 担 金		33,000		33,000
		小 計		2,472,218	153,876	2,626,094
	災 害 復 旧 費		30	10,100	10,130	
	計		2,472,248	163,976	2,636,224	
その他経費	積 立 金		2,629	480,000	482,629	
	投 資 及 び 出 資 金					
	貸 付 金					
	繰 出 金		2,037,362		2,037,362	
	計		2,039,991	480,000	2,519,991	
予 備 費		50,000		50,000		
合 計		15,254,600	938,500	16,193,100		